

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト推進会議 事業一覧

分野	n o .	事業名	関係課	実施主体	備考
環境	1	水草(セキショウ藻)の移植	町民課	東郷池の水質浄化を進める会	
	2	東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進	町民課	東郷池の水質浄化を進める会	
	3	内水面の環境保全	産業振興課	東郷湖漁業協同組合	
	4	稚魚放流調査	企画課	東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクト	
観光	5	池等の産物料理メニュー化促進	産業振興課	湯梨浜町商工会、はわい温泉・東郷温泉旅館組合	
	6	カニバス事業	産業振興課	はわい温泉・東郷温泉旅館組合	
	7	特産品販売促進活動	産業振興課	産業振興課	
	8	観光商品造成戦略活動	産業振興課	産業振興課	
	9	燕趙園エリア活性化事業	—	燕趙園	※中華コスプレプロジェクトを統合
	10	ホワイトライアスロン i n 湯梨浜	産業振興課	ホワイトライアスロン i n 湯梨浜大会実行委員会	
	11	湯梨浜夏まつり	企画課	湯梨浜夏まつり実行委員会	
産業	12	東郷湖ドラゴンカヌー大会	—	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局	
	13	水源域森林育成作業	産業振興課	産業振興課	
	14	エコファーマーの推進	産業振興課	J A鳥取中央湯梨浜営農センター	
資源	15	シジミの生息環境改善対策	産業振興課	東郷湖漁業協同組合	
	16	東郷池周辺地域の浸水対策	建設水道課	鳥取県	
	17	東郷湖周道路整備事業	建設水道課	鳥取県	
	18	東郷荘絵図活用導入事業	生涯学習・人権推進課	生涯学習・人権推進課	
	19	東郷湖・未来創造会議(天女のふる里づくり事業)	企画課(全課)	東郷湖・未来創造会議	
	20	ウォーキングリゾートプロジェクト	健康推進課 他	健康推進課	
	20-1	ウォーキングリゾートプロジェクト(大会情報)	健康推進課 他	鳥取県、町、東郷湖羽合臨海公園、N P O他	
20-2	東郷湖周“げんきウォーキング”プロジェクト	企画課、産業振興課	東郷湖周“げんきウォーキング”プロジェクト実行委員会		
—	21	東郷湖活性化プロジェクト推進会議	企画課 他	東郷湖活性化プロジェクト推進会議	

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質(COD) 4.5mg/l

No.	取組名	水草(セキショウ藻)の移植												
	関係課	町民課				関係者	—				実施主体	東郷池の水質浄化を進める会		
	実施計画	東郷池において、近年、藻の繁殖がなくなってきた。セキショウ藻は、かつては東郷池に多く繁殖し、モク刈りをしてきた品種であるが、近年姿が見られず東郷池では絶滅したと思われていた。地元の方が出雲山付近の東郷池に生息しているセキショウ藻を発見した。昨年は、セキショウ藻をビオトープに移植したが、生育状況を確認しながら、東郷池で増やす方策を検討する。						財源の確保				鳥取県みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金(予定) 事業費 170,000円 補助率 県1/2 町1/2		
1	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画		鳥取県に補助金交付申請			衛研・漁協と現地協議 東郷池での移植先の調査・検討							
		実績	衛生環境研究所及び県と協議		鳥取県に補助金交付申請		セキショウモの移植実施(7/29)		衛生環境研究所と協力し経過観察					
	実施の方針	◆鳥取県補助金を受けて実施予定(補助率 県1/2 町1/2) ◆移植の状況をみながら、鳥取県衛生環境研究所の指導助言を受けて、地元漁協の協力を得て、漁船を借り受け東郷池での繁殖適地を調査検討し、東郷池の絶滅の恐れのある藻の保護を行っていく。						進捗状況・実績(事業効果)				◆5月：鳥取県衛生環境研究所と県環境・循環推進課とセキショウモの移植について協議。昨年実施分の状況、反省として、鳥にやられてしまっていたため、今回は網かご等対策を検討。 ◆7月：7/29あやめ池公園のビオトープ内にセキショウモを移植。以降、鳥取県衛生環境研究所と協力し経過観察を実施。 ◆10月：鳥取県衛生環境研究所が、漁協協力のもと、上浅津地区の東郷池内に試験移植を実施。		
	事業の目標	東郷池での繁殖適地の検討を行う。						目標に対する達成度				50%		
	現在までの評価	鳥取県衛生環境研究所に経過を観察してもらっているが、現在は冬枯れのため、特に変化なし。						最終評価				—		

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質(COD) 4.5mg/l

No.	取組名	東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進														
	関係課	町民課				関係者	—				実施主体	東郷池の水質浄化を進める会				
	実施計画	住民活動により池周辺の環境美化を推進する「東郷池を守り育てるアダプトプログラム」を年度を通じて実施する。 平成27年7月町報でアダプトプログラム活動を周知する。 年度を通して、新規団体の勧誘を実施する。 参加団体の活動が円滑に進むよう、ごみ袋・軍手の配布やごみ収集を行う。						財源の確保				既定予算で実施				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	計画	←各団体に前年度実績を照会→		←報告を取りまとめて町報に前年度実績を紹介→			←活動支援・新規参加団体勧誘・広報→									
	実績	←各団体に前年度実績を照会、取りまとめ→		←春の東郷池一斉清掃→		←7月町報掲載→		←秋の東郷池一斉清掃→				←(有)中本産業アダプトプログラム参加→				
2	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆活動を町報等で周知するとともに、年度を通して参加団体の勧誘を行う。また、参加団体と連携を取りながら、活動しやすいよう支援を行っていく。 ◆今後の勧誘団体は、東郷池周辺から、池から離れた近隣企業や学校に広げていく ◆引き続き、町報やホームページで活動の広報をする。清掃活動の参加者の増に努める。 						進捗状況・実績(事業効果)				<ul style="list-style-type: none"> ◆4月：各団体に前年度実績を照会し、取りまとめた。H26年度実績：延回数94回、延参加人数1,083名(前年実績：73回、1,001名参加) ◆5月：5/17春の東郷池一斉清掃を開催。町内各区、アダプトプログラム参加団体等へ案内し、237名の参加を得た。(前年実績：217名参加) ◆7月：町報にアダプトプログラム記事掲載。 ◆10月：10/4秋の東郷池一斉清掃を開催。290名参加。海岸清掃実施団体へアダプトプログラムへの参加について、声かけを実施。 ◆2月：(有)中本産業及び第一生命労働組合よりアダプトプログラムの参加申し込みをいただいた。2団体増え、33団体となった。 				
	事業の目標	参加団体33団体(2団体増) 参加人数1,000人						目標に対する達成度				100%				
	現在までの評価	2月に、(有)中本産業及び第一生命労働組合よりアダプトプログラムの参加申し込みをいただいた。2団体増え、33団体となった。						最終評価				—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	内水面の環境保全													
3	関係課	産業振興課				関係者	—				実施主体	東郷湖漁業協同組合			
	実施計画	東郷湖クリーンアップ事業 東郷池の湖面・湖底のゴミを回収し、適正に処理する。 東郷湖漁協を実施主体に、船舶・ジョレン等により湖底等のゴミを回収する。						財源の確保				既定の予算で対応（全体事業800千円 補助率1/3）			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画						← クリーンアップ事業 →							
		実績						← クリーンアップ事業 →							
	実施の方針	◆東郷池の湖面・湖底のゴミを回収し、処理する。 ◆湖面・湖底のゴミ類を回収することで、池の環境を保全すると共に魚介類の生息域の拡大を図る。						進捗状況・実績 （事業効果）				◆9月：9/26にクリーンアップ事業を実施。（28日検収） *H27年度ゴミ回収量実績：28.75m ³			
事業の目標	ゴミ回収量が減量となるのが理想であるが、環境保全に向けた取り組みであることを鑑み、昨年度並みのゴミを回収することを目標とする。*H26年度ゴミ回収量：32.0m ³						目標に対する達成度				対前年比：89.8%				
現在までの評価	ゴミの回収量は、対前年度89.8%であったが、事業自体は予定どおりに遂行することができた。						最終評価				—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	稚魚放流調査													
4	関係課	企画課				関係者	町内保育所・小中学校				実施主体	東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクト			
	実施計画	サケの飼育放流プロジェクトに町として協力参加する。活動状況はホームページ等で紹介し、環境浄化に向けた啓発と東郷湖活性化プロジェクト事業の取り組みを広く宣伝する。							財源の確保			既定予算で対応			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画								↔	↔	↔	↔	↔	
		実績								↔	↔	↔	↔	↔	
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 11月 町内の河川でサケの遡上を確認する。 ◆ 12月 発眼卵受取 ◆ 3月 放流 							進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ◆ 11月：上月より、サケの遡上調査を実施。東郷川において2匹の遡上を確認。また、舟川で4匹の遡上があったという情報あり。 ◆ 12月：12/14今年度放流するサケの発眼卵を受け取り、飼育を開始した。12月下旬に全数孵化。成育しないサケ（卵）が数匹あったが、全体的には順調に成育している。 			
事業の目標	事業の進捗状況をホームページ等で公開する。							目標に対する達成度			75%				
現在までの評価	サケ飼育については、HP掲載済み。放流後、その様子をHPに掲載する。							最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	池等の産物料理メニュー化促進													
	関係課	産業振興課				関係者	はわい温泉・東郷温泉旅館組合			実施主体	はわい温泉・東郷温泉旅館組合				
	実施計画	はわい温泉・東郷温泉旅館組合が実施している「スッポン養殖事業」によるスッポン料理のメニュー化について、旅館組合と協調していく。						財源の確保			地方創生事業を財源に補助金を支出予定				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
計画		はわい温泉・東郷温泉旅館組合がスッポン養殖を実施、各旅館において料理提供する。													
実績		↔ 先進地視察		はわい温泉・東郷温泉旅館組合がスッポン養殖を実施。						← 養殖小屋建設					
5	実施の方針	◆スッポン料理の商品化(主に旅館で提供予定)を積極的に推進する。						進捗状況・実績 (事業効果)			◆H25、H26に購入した稚ガメの飼育を継続して実施している。(H26に試食会等の実施でカメを消費したため、現在の飼育数は150匹程度) ◆自家孵化養殖の実施を目指して、4/23～24に先進地(奥飛騨焼岳温泉)を視察。 ◆町地方創生事業のじげ産業育成支援補助金を活用し、自家孵化養殖の実施に着手。1月初旬に養殖小屋が完成した。加温に必要な湯量が足りないため、送湯のための配管工事を施工中。				
	事業の目標	町内の旅館でのメニュー化を進める。						目標に対する達成度			60%				
	現在までの評価	産卵設備整備に当初の予定以上に期間を要している(コンクリートの養生期間等)ため、今年度は産卵孵化環境の整備のみに止まる見込み。当初計画より進捗が遅れるが、産卵孵化により個体数確保の目途が付き次第、メニュー開発等に取り組む。						最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	カニバス事業													
	関係課	産業振興課				関係者	はわい温泉・東郷温泉旅館組合			実施主体	はわい温泉・東郷温泉旅館組合				
	実施計画	はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で、冬季の誘客事業「カニバス」を実施。						財源の確保			はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で実施				
6	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画								←	→	←	→	←	→
		実績								←	→	←	→	←	→
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆カニバスツアーを従来どおり実施する。 ◆松崎地区の団体と連携し、街あるき新聞を作成・配付。旅館のみならず施設や飲食店への波及効果を狙う。 						進捗状況・実績(事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆9月：9/7に観光ガイドの会とカニバス添乗ガイドについて協議。昨年に続き、カニバスに観光ガイドの会が添乗して、町の紹介を行うこととなった。 ◆11月末にまちあるき新聞を発行。12月7日には関西の旅行社、新聞社を訪問し、カニバスPRを行った。 ◆1月中旬に大阪府内向けの広告宣伝(新聞)を行った。 ◆2月末現在で約3,150名程度の申込。最終的には3,300名程度となる見通しである。 				
	事業の目標	カニバスツアーを通じて誘客促進を図るとともに、町内施設への波及効果を狙う。						目標に対する達成度			80%				
	現在までの評価	実績は、前年を下回る見通し。北陸人気の影響があるものと分析しているが、近隣で類似の企画も実施されており、他との差別化が必要と感じている。						最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	特産品販売促進活動													
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課			実施主体	産業振興課				
	実施計画	①町の特産品(二十世紀梨等)について、東京新橋のアンテナショップ等にイベント出展し、町の魅力として発信する。(年1回以上) ②地元食材を使ったアイスクリームを製造販売し、町の食の魅力として発信していく。(年3回以上)						財源の確保			町特産品PR事業として、旅費、ノベルティ経費等を計上。その他、観光協会、とっとり梨の花温泉郷事業等経費で対応。				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画							イベント出展						
		実績							イベント出展(アイス販売、アンテナショップ)						
7	実施の方針	既定経費で対応。 ①町単独事業として、東京や関西地区など効果の上がるエリアを検討しながら、販売促進活動を実施していく。(50%⇒50%) ②県内イベントを中心に開催し、地元での認知度を高める。(50%⇒50%)						進捗状況・実績 (事業効果)			【特産品販売PR】 ①10/14、15に東京アンテナショップでげんき梅商品の販売PRを実施。梅みそが比較的好評であった。 ②各イベントにて地元食材を使ったアイスクリーム等を販売。町の食の魅力を発信 ◆5月 5/17 サッカーガイナール鳥取ホームタウンデイ(アイス65個販売。フルーツ系人気。) ◆6月 6/13、14 グラウンドゴルフ発祥地大会他3イベント(アイス100個販売) ◆7月 7/4、5 ハワイアンフェスティバル他2イベント(アイス27個) ◆8月 8/1 愛らぶ東郷池他3イベント(アイス115個) ◆9月 9/20、21 鳥取中部B級グルメバトル(アイス630個) ◆10月 10/4湯梨浜大漁まつり(アイス90個) ◆11月 11/23農大まつり(アイス40個) ◆12月 12/6国際交流フェスタ(アイス39個) ※4月～1月合計 1,079個販売(メロン、梨、イチゴ、梅が上位) ※店頭販売を含めると4,284個の販売(前年同期比110.8%)				
	事業の目標	各種イベントへの出展を通して、食を素材とした湯梨浜の魅力発信に努め、湯梨浜の認知度向上を図る。						目標に対する達成度			100%				
	現在までの評価	◆新作アイス(ピオーネ、イモ、甘酒ほうじ茶、ゆず、みかん)の試作に関し、味やトッピングの調整が必要と判断し、再度試作を行っている。						最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	観光商品造成戦略活動												
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課			実施主体	産業振興課			
	実施計画	町観光協会の着地型観光商品である今滝「滝床料理」等の企画や観光ガイド活動を維持推進し、町への誘客を促進をする。						財源の確保			観光協会予算の中で対応			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画								通年実施（6企画）						
実績		観光情報説明会		観光情報説明会		観光情報説明会			ガイド養成講座8回			カニバスガイド		
8	実施の方針	<p>既定経費で対応。</p> <p>◆既存の着地型観光商品の宣伝（情報説明会、観光客誘致宣伝キャラバンの実施）及び維持。（50%⇒現在40%）</p> <p>◆観光ガイド組織を活用し、地域全体での観光おもてなしの機運を醸成する。（50%⇒現在40%）</p>						進捗状況・実績（事業効果）			<p>◆5/12, 21、7/4、9/8, 9, 14に県の観光情報説明会（大阪、広島、福岡、名古屋）に参加し、町の観光商品を宣伝PRした。（滝床料理、磯焼き飯、ウォーキングプラン）</p> <p>◆滝床料理プランは519名の実績で昨年、一昨年と不振だった状況から回復してきた。うち韓国人が300名程度ありインバウンド企画として実績を上げている。</p> <p>◆10/8から全8回で今年度の観光ガイド養成講座を実施した。ウォーキングガイドやカニバスガイドを想定した内容で実施した。17名参加（うち新規2名）3月末までカニバスでのガイド活動を実施。</p>			
	事業の目標	着地型観光プランやガイド活動を積極的に推進し、湯梨浜の魅力発信に努め、湯梨浜の認知度向上を図る。						目標に対する達成度			80%			
	現在までの評価	<p>◆教育旅行をターゲットにした新商品（ドラゴンカヌー体験・グラウンドゴルフ体験）の造成を進めている。3月には大阪の高校の修学旅行誘致視察を受け入れる予定としている。</p> <p>◆観光ガイド養成講座を実施し、新規ガイドの養成に取り組んだ。現在はカニバスの添乗ガイドを行っている。</p>						最終評価			—			

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	燕趙園エリア活性化事業														
	関係課	—					関係者	燕趙園			実施主体	燕趙園				
	実施計画	地域の拠点施設として庭園内(道の駅燕趙園を含む)は勿論、周辺と連携を取りながらイベントを開催し賑わいの創出を図る。開園20周年の節目に施設の更なる魅力向上を図る。							財源の確保			既定予算で対応(町予算なし)				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	計画		GWイベント	児童節	夏休みイベント	中秋節	燕趙園まつり	中華コスプレ大会	庭園冬花火	正月イベント	春節祭					
	実績		ぼたん祭り	GWイベント	児童節	夏休みイベント	白銀節	燕趙園まつり	中華コスプレ大会	上昇輝龍イルミネーション	正月イベント	春節祭	仙桃節			
9	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆道の駅燕趙園を農産品販売の拠点として位置づけ、地元特産品の販売を促進する。 ◆周辺施設と協力し、相乗的な集客効果を図る。 ◆イベントの早期決定と周知を図りPRに努める。 ◆地域の協力を得ながら中華コスプレ大会を更に魅力あるイベントにする。 							進捗状況・実績(事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆4/25~29:ぼたんまつり(GW) ◆5/3~6:黄金節(GW) ◆5/9、10第18回中華コスプレ大会 ◆6/5~7:肖春魁陶芸展 ◆6/13、14、20、21:児童節 ◆7/24~8/23:はなかつぱわくわくフェスティバル ◆7/18~20:観蓮会 ◆7/18、19:燕趙園夏の大会 ◆8/1:アロハステージin燕趙園 ◆中国獅子舞 ◆8/14:幻想の夕べ ◆8/22:庭園花火 ◆9/1~30:白銀節 ◆9/1~10/30:濱田珠鳳「指画の世界」 ◆10/10~12:燕趙園まつり ◆11/14、15:第19回中華コスプレ大会 ◆11/21~23:重陽節 ◆12/25:上昇輝龍(イルミネーション) ◆1/1グラウンドゴルフ元日初打大会(定例会として月1回開催) ◆1/1~3:正月イベント ◆2/11~14春節祭 ◆2/27菊池ひみこジャズ・コンサート ◆3/19~21仙桃節 ◆4月~3月有料入場者数:7万人 				
	事業の目標	拠点施設として、周辺の賑わいを創出する。有料入園者数10万人地域に根付いた道の駅へ。							目標に対する達成度			80%				
	現在までの評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆有料目標人数には届かなかったが、周辺の賑わいの創出は効果が出つつある。ウォーキングなど周辺のイベントに協力し盛り上げた。今後も連携していく。 ◆自主イベントでもGG大会やフリマなどを開催し、燕趙園エリアの賑わい創出に努めた。 							最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	ホワイトライアスロン in 湯梨浜													
	関係課	産業振興課				関係者	ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会 実行委員会			実施主体	ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会実行委員会				
	実施計画	東郷湖の魅力向上、観光振興、地域活性化に向けた取り組み。 東郷湖及びその周辺を活用し開催する。 ◆個人：スイム1.5km・バイク40km・ラン10km 定員320名 ◆リレー：スイム1.5km・バイク40km・ラン10km 定員30組 ◆ジュニアA(中学生)：スイム0.375km・バイク11.5km・ラン2.5km 定員30名 ◆ジュニアB(高校生)：スイム0.75km・バイク23km・ラン5km 定員30名						財源の確保			選手参加料、町委託料(スポーツ振興くじ助成金(toto)を活用)、協賛金など				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	計画		選手募集		大会21日	大会開催の効果・検証			実行委員会						
	実績		選手募集		大会21日	アンケート実施	アンケート集計・検証	検証結果内部協議	競技団体との協議		次回大会の準備	実行委員会26日	事務局開所式25日		
10	実施の方針	◆トライアスロン情報サイトから情報発信するなど、WEBを活用して選手、ボランティア募集。 ◆地域住民の参画により地域の活性化を図るため、地域住民からボランティアを募集。 ◆風光明媚な東郷湖とその周辺をコースに設定 ◆競技を通して湯梨浜町の魅力を情報発信し、地域経済への波及効果及び観光振興を図る。				進捗状況・実績(事業効果)			◆予定選手数340人、25チームに対し、応募があったのは281人、23チームとなった。これは近隣他県の大会が6月に開催されることになった影響を大きく受けているものと思われる。 ◆前回までの大会で参加いただいたボランティアに継続して参加いただけてなく、参加ボランティアの若返りが進んでいない。TCCの番組を活用して応募を呼びかける新規の取り組みを行った。 ◆選手、実行委員、ボランティアにアンケートを実施した。 ①選手：スイムコースの東郷湖に対する満足度は水質や透明度の関係で65%だった。宿泊は町外宿泊と車中泊が71%となり、町内宿泊に結びついていない。大会コースやボランティアに対する満足度は90%以上あった。 ②実行委員、ボランティア：次回大会の参加に対して積極的な意見19%、消極的な意見は50%だった。その理由は長時間業務が体力的にきつい、毎年くたびれが出ていて限界を感じるというもの。大会の参加満足度は60%あった。 ◆次回の最終大会日程を6月18日(土)、19日(日)とすることとし、それに向けて1月26日(火)に実行委員会を開催。予算や事業の案を承認いただいた。 ◆2月25日(木)に事務局開所式を開催。大会準備を本格的にスタートするとともに、取材にお越しいただいた報道機関を通して大会の情報発信を行った。						
	事業の目標	県外からの選手とその家族に、町内で宿泊いただくとともに、選手の観光面での満足度を前回大会より向上させる。						目標に対する達成度			100%				
	現在までの評価	◆最終大会に向けて準備を進めている。機会があるたびに報道機関を通して大会の情報発信を行い、選手やボランティアの確保に努めたい。						最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口(宿泊客)年間20万人

No.	取組名	湯梨浜夏まつり												
	関係課	企画課				関係者	湯梨浜夏まつり実行委員会				実施主体	湯梨浜夏まつり実行委員会		
	実施計画	地域に根付いた伝統行事や湖上火花大会など東郷池の魅力向上を図るとともに、地域活性化及び観光振興に向けた取り組みを実施する。						財源の確保			補助金、寄付金等			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	↔ 実行委員会	↔ 実行委員会	↔ 実行委員会	↔ 開催				↔ 反省会				
	実績													
			↔ 実行委員会	↔ 実行委員会		↔ 網引き大会	↔ 水郷祭	↔ とまり夏まつ			↔ 反省会			
11	実施の方針	湯梨浜夏まつり実行委員会で祭りの内容等を決定、実施する。 HP、観光雑誌などを通し、全国PRを行う。						進捗状況・実績 (事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆4月：4/24第1回実行委員会を開催。 ◆5月：5/25第2回実行委員会を開催。 ◆7月：7/18網引き大会を開催。7/19水郷祭を開催。7/25とまり夏まつりを開催。 ◆11月：11/16反省会・写真コンテスト審査会を開催。写真コンテストの最優秀賞1点、優秀賞2点を決定。受賞作品については来年度の夏まつりポスターに使用予定。 ◆2月：2/3実行委員長会を開催。商工会青年部主体で来年度羽合地域で新たな夏まつり実施することについての協議。 ◆湯梨浜夏まつりHPアクセス件数(6月～8月)：3,874件 			
	事業の目標	◆湯梨浜夏まつりの認知度の向上させるため、湯梨浜夏まつりHPのアクセス数(6月～8月)の増加を図る。 昨年度2,995件 ⇒ 目標3,200件以上						目標に対する達成度			121%			
	現在までの評価	商工会青年部が来年度実施する羽合地域での新たな夏まつりの実施に向けて商工会青年部が計画協議中である。						最終評価			—			

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	東郷湖ドラゴンカヌー大会												
	関係課	—				関係者	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局	実施主体	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局					
	実施計画	東郷池及びその周辺施設を会場に東郷湖ドラゴンカヌー大会を開催し、東郷池の魅力向上、地域活性化、観光振興を図る。						財源の確保			寄付、補助金、参加費等			
12	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	大会日程告知 (HP)		参加者募集		前夜祭/ドラゴンカヌー大会							
		実績	大会日程告知 (HP)		参加者募集		8/22 前夜祭 8/23 ドラゴンカヌー大会							
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成27年8月23日、ハワイ夢広場を会場に大会開催予定 ◆参加者募集をHPやフェイスブック等で周知を行い参加チームの増加を図る。 ◆前年度に予定していた前夜祭を開催し、参加者の交流を図るとともに県外チームの宿泊につなげる。新たな取り組みとして、前夜祭においてマッチレース形式の「ナイトドラゴン」を実施予定。 ◆カヌー、パドルなどの設備が劣化しているため、平成27年度はパドルを交換する予定である。継続的な大会運営のため、今後も町と協議するとともに、各種補助制度の活用も検討し、予算の確保を図る。 						進捗状況・実績（事業効果）			平成27年8月22・23日（土・日）に前夜祭、本大会を実施。前夜祭では、9チーム（うち県外1チーム）、本大会では66チーム（内県外6チーム）約850名の参加により実施した。宿泊者数等は把握できていないが、参加者は例年並みであった。			
	事業の目標	参加チームの増加を図り、幅広く東郷池の魅力を発信する。 ◆目標100チーム 県内外のチームを幅広く募る。						目標に対する達成度			75%			
	現在までの評価	前夜祭「ナイトレース」については、初めての試みであり、内容、ルール等の決定に時間を要したため、PRが遅れたこともあって参加数が少なかった。取り組みとしては感触は良かったので、今後に期待したい。						最終評価			—			

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

森林の	野	産業
目 標	東郷池の周辺環境を活かした農林水産業の振興を	
数値目標	シジミ年間漁獲量200トン	

No.	取 組 名	水源域森林育成作業												
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課				実施主体	産業振興課		
	実施計画	竹林整備事業と併せてタケノコ生産の振興を図り里山環境の改善を推進する。 併せて、中部森林組合と連携しながら間伐事業を推進していく。						財 源 の 確 保			鳥取県竹林整備事業補助金 既定の予算			
13	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計 画	←		竹林の広報・PR		→		←			→		
		実 績	←		竹林の広報：HP掲載		←		←			→		
		タケノコ掘り	←		間伐事業の推進と実施		←		←			→		
実施の方針	◆森林・竹林所有者へのPRとタケノコ生産も併せて推進する。 ◆中部森林組合と連携しながら間伐事業を推進する。						進捗状況・実績 (事業効果)			◆4月：4/27公民館事業として、原の唐川地区にある竹の子栽培林にて、こども教室の児童による竹の子掘りを実施。 参加人数：こども教室の児童等 13名 ◆10月：竹林整備の着手 川上地内の竹林(1,500㎡) 施行中				
事業の目標	竹林整備 0.6ha 以上 間伐事業 0.3ha以上						目標に対する達成度			30%				
現在までの評価	現在施行中						最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	産業
目標	東郷湖の周辺環境を活かした農林水産業の振興を
数値目標	シジミ年間漁獲量200トン

No.	取組名	エコファーマーの推進													
	関係課	産業振興課				関係者	倉吉農業改良普及所				実施主体	JA鳥取中央湯梨浜営農センター			
	実施計画	環境にやさしい水稲・果樹経営農業者の育成。 東郷湖の水質に影響ある農薬・化学肥料の使用量低減を図る。 農薬散布後の残農薬処理を適正に行う。						財源の確保				鳥取県環境保全型農業直接支援対策交付金（国1/2 県1/4）			
14	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	【水稲】 ←	【水稲・大豆】 エコファーマー認証取得								制度説明・告知			→
				再認定申請募集	認証取得										
			【果樹】 ←	【果樹】 エコファーマー認証取得に向けた内容協議							認証取得に向けての圃場実証栽培				H27認証取得者目標設定
	実績	【水稲】	↔	広報活動											
		【果樹】												【果樹】 防除後の残農薬の適正処理周知、指導の徹底	
	実施の方針	水稲・大豆などにおいて減農薬、減化学肥料に取り組み、また果樹については各支部を通じて防除後の残農薬の適正処理についてJAと連携し栽培農家へ周知、指導徹底を行うことにより池の水質保全に努める。果樹農家によるエコファーマー認証取得に向けては、に園芸試験場等減農薬技術研究機関等の情報を収集し、活用できる減化学肥料栽培を目指すことに加え、県と協力して実現可能な方法を検討するものとする。						進捗状況・実績 (事業効果)				◆5月：5/20原において環境にやさしい代かき法実演会を開催し、環境にやさしい農業及びエコファーマーの広報を行った。 ◆①2月末水稲エコファーマー実施者：26名 ②梨生産農家については、東郷果実部として環境にやさしい農業を進めるため、化学肥料と化学合成農薬の使用を抑えるなど、農業生産工程管理(GAP)に取り組んでいます。			
	事業の目標	①水稲エコファーマー 10名増(現在50名) ②果樹農家によるエコファーマー認証取得に向けた取組み内容の協議						目標に対する達成度				①0% ②-			
	現在までの評価	エコファーマーの推進に向け、引き続き関係機関と協力しながら啓発する。						最終評価				-			

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	産業
目標	東郷池の周辺環境を活かした農林水産業の振興を
数値目標	シジミ年間漁獲量200トン

No.	取組名	シジミの生息環境改善対策													
	関係課	産業振興課	関係者	鳥取県栽培漁業センター・鳥取県				実施主体	東郷湖漁業協同組合						
	実施計画	東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図るため、東郷湖漁協が実施する覆砂事業に対して助成を行う。併せて今年度は東郷湖漁協単独で引き続き、シジミの陸上養殖を行う。						財源の確保	既定予算で対応						
15	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	← 覆砂事業 →				← シジミの陸上飼育 →				← 東郷湖内のシジミ籠での飼育 →				
			← 東郷湖内のシジミ籠での飼育（昨年度分） →						← シジミの放流（昨年飼育分） →						
			← 東郷湖内のシジミ籠での飼育（昨年度分） →						← シジミの放流（昨年飼育分） →						
		実績	← 東郷湖内のシジミ籠での飼育（昨年度分） →						← シジミの放流（昨年飼育分） →						
← 東郷湖内のシジミ籠での飼育（昨年度分） →						← シジミの放流（昨年飼育分） →									
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆シジミの増殖及び湖内の水質浄化のため、東郷池の野花川付近で覆砂事業を実施 ◆昨年に引き続きシジミの陸上飼育を行う ◆昨年より飼育している稚貝の放流を秋に実施 						進捗状況・実績（事業効果）	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続きシジミを飼育中である。 ◆11月：11/26～12/4で覆砂作業を実施 ◆12月：12/21昨年度より飼育しているシジミを放流（約3万個：野花沖） 						
	事業の目標	陸上飼育方法の確立と成育した稚貝の放流						目標に対する達成度	100%						
	現在までの評価	計画どおりに事業実施できた。						最終評価	—						

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷池周辺地域の浸水対策												
	関係課	建設水道課					関係者	鳥取県			実施主体	鳥取県		
	実施計画	○東郷池（松崎～引地地区）堤防嵩上げ L=約2.3km ○東郷池周辺道路の嵩上げ ・県道長和田羽合線（門田） ・県道東郷湖線（長和田）（上浅津） ・県道東郷羽合線（南谷） ・町道門田長江中央線（門田～長江）					財源の確保			（県予算） 【河川】平成27年度 事業費 56,000千円[見込み] ・本工事：東公園～旭旅館付近（一部区間） 【道路】平成27年度 事業費 40,000千円[見込み] ・本工事：東郷湖線（長和田）嵩上げ （町予算） 【道路】平成27年度 事業費 7,000千円 ・本工事：門田長江中央線（門田～長江）嵩上げ				
16	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	【河川】	測量設計(繰越)樋門設計・地質調査								工事(現年)東公園～旭旅館付近の一部区間		
			【道路】	工事(繰越)東公園～ボブア付近の一部区間					工事(現年)東郷湖線(長和田)					
		実績	【河川】	測量設計(繰越)樋門設計・地質調査								旭旅館～西側調査設計・地質調査解析		
【道路】	工事(繰越)長和田羽合線(門田)					工事(現年)東郷湖線(長和田)			東公園～ボブア残工事(東公園)					
	実施の方針	◆東郷池の治水対策（案）の骨子 ・平成23年台風12号洪水に対応したT.P. +1.5mの湖岸堤を整備 ・被災実績及び住民の意向を踏まえ、松崎～引地地区の湖岸堤整備を実施（湖岸堤整備は必要最小限の範囲とし、景観・自然環境の保全に配慮） ・緊急避難路確保のため、県道浸水区間の嵩上げを検討実施 ・町と連携した避難体制の強化等のソフト対策の充実を図る ・概ね10年程度を目処に事業を実施					進捗状況・実績（事業効果）			【東郷池周辺湖岸堤・護岸嵩上げ計画】 ◆東公園～ボブア付近L=550mの内、477m区間工事は9月中旬完了、残工事(東公園)は年度未完了予定。旭区樋門設計調査は、1月中旬完了。ボブア～旭旅館付近の用地測量調査は年内に完了。また旭旅館～西側の調査設計・地質調査解析業務(11月上旬契約)は地質調査実施中で、その後設計に着手する。 【道路嵩上げ計画】 ◆長和田羽合線(門田地区)2工区は7月下旬に完了。また東郷湖線(長和田)の改良工事(1工区)は11月上旬に契約、現在擁壁・側溝を施工中で繰越予定。また残工事(改良・舗装)は年度末発注予定。 ◆町道門田長江中央線の第2期工事(137m区間)は、7月上旬に完了。また継続工事(2工区L=74m)も年内に完了済。				
	事業の目標	平成23年9月の台風12号程度の洪水からの浸水被害を軽減するとともに、緊急避難路確保のため東郷池周辺の県道浸水 구간を解消する。					目標に対する達成度			河川事業(県)75% 道路事業(県)50% 道路事業(町)100%				
	現在までの評価	河川事業(県)は概ね計画通りに進んでいるが、道路事業(県)は多少遅れ気味である。なお、道路事業(町)は早期完了済。					最終評価			—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷湖周道路整備事業												
	関係課	建設水道課					関係者	鳥取県			実施主体	鳥取県		
	実施計画	東郷湖周道路で歩道未整備区間は、県道の藤津～宮内区間と松崎駅前区間となる。平成24年度に藤津～宮内区間は事業着手し、平成28年度完成予定。松崎駅前区間は東郷池河川整備計画との関連がある。平成26年度までに予備設計及び用地補償関係者と交渉を行っているが、交渉が難航している。今年度は地元の意向確認により整備方針を決定し、詳細設計を行う予定。							財源の確保			(県予算) ○平成27年度当初 事業費 32,000千円 ・本工事:歩道設置(山切り部) 県道東郷羽合線(藤津～宮内区間)歩道設置事業 ○平成27年度当初 事業費 15,000千円 ・測量・詳細設計 県道倉吉青谷線(松崎駅前区間)線形改良事業		
17	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	【藤津～宮内区間】	工事(繰越)歩道設置(山切り部)						工事(現年)歩道設置(山切り部)				
		実績	【松崎駅前区間】	測量設計業務発注					測量設計業務実施					
		【藤津～宮内区間】	工事(繰越)歩道設置(山切り部)、法面对策工事						工事(現年)山切り部残区間+張出し歩道(一部)					
		【松崎駅前区間】	鶴の湯旅館所有者説明		進め方検討			詳細設計業務、物件調査(鶴の湯)			用地測量・物件調査(全体)			
	実施の方針	◆県道東郷羽合線(藤津～宮内区間)歩道設置事業 計画延長L=900m、W=5.5m(9.25m) 用地買収・本工事を継続し、事業の進捗を図る。 ◆県道倉吉青谷線(松崎工区)線形改良事業 計画延長L=270m、W=6.5m(13.0m) 地元の意向確認により整備方針を決定、測量・詳細設計を実施して事業の進捗を図る。							進捗状況・実績 (事業効果)			◆山切区間(うち約L=140m区間)の工事は8月末完了。H26年度末の法面一部滑落に対する法面对策工事は施工中であり3月末完了予定。また残山切区間(9月契約)も順調に施工中で3月末完了予定で張り出し歩道は、一部既存擁壁崩壊もあり、繰越見込み。 ◆6/24に鶴の湯旅館の所有者の調査協力の了解を得て、道路法線再検討を含む詳細設計業務(7月契約)、物件調査(鶴の湯)(8月契約)、路線全体の用地測量・物件調査(11月契約)を実施中。詳細設計は1月末に完了。鶴の湯を含む用地測量・物件調査は3月末完了予定で補償金の算定までを終える。来年度から本格的な用地・補償交渉にかかる。		
	事業の目標	線形改良により視距を改善。歩道設置による歩行者の安全確保と幅員狭小区間の解消による交通の円滑化。							目標に対する達成度			藤津地区 70% 松崎駅前 70%		
	現在までの評価	東郷羽合線(藤津地区)歩道整備は概ね計画通りに進んでいる。松崎駅前線形改良事業の詳細設計も完了し、路線全体の用地測量・物件調査も着々と進んでおり、概ね計画通りである。							最終評価			—		

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷荘絵図活用導入事業												
	関係課	生涯学習・人権推進課				関係者	生涯学習・人権推進課				実施主体	生涯学習・人権推進課		
	実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史講演会を開催する。 ◆ふるさと再発見湯梨浜学講座を開催する。 ◆文化財見学会を実施する 						財源の確保				既定予算で対応。		
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	計画		文化財見学会（出雲）						←11月8日 歴史講演会（橋津藩倉）					
	実績		←3/27～5/17(古代出雲歴史博物館・島根県)		5/24(はわい長瀬地区)	←7/8(石脇地区)				←11/8全国藩倉シンポジウム(橋津地区)				
18	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史講演会を開催する。 地域の文化財をテーマとした講演会を開催する。 ◆ふるさと再発見湯梨浜学講座を開催する。 町内2地区で実施する。 ◆文化財見学会を実施する。 古代出雲歴史博物館にて「国宝銅経筒(宮内倭文神社蔵)」、「伯耆国河村郡東郷庄之図(摸本：東大史料編纂所蔵)」を見学する。 						進捗状況・実績 (事業効果)				<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財見学会 古代出雲歴史博物館(島根県)で開催された企画展に湯梨浜町に関連した展示品として「国宝銅経筒(宮内倭文神社蔵)」、「伯耆国河村郡東郷庄之図(摸本：東大史料編纂所蔵)」、「伯耆国河村郡東郷湖漁具図(写)」が展示されるため、町内の文化財保護委員をはじめ歴史文化関係団体への周知を行った。(橋津歴史塾、長瀬宿研究会等見学者多数) ◆ふるさと再発見湯梨浜学講座 5/24はわい長瀬地区(40人参加)、7/8石脇地区(29人参加) ◆歴史講演会(橋津藩倉) 11月8日全国藩倉シンポジウム開催(100人参加) 		
	事業の目標	町内の歴史文化遺産の活用を図り関心を高めることで、ふるさと の歴史を知ること、郷土愛を育む。						目標に対する達成度				100%		
	現在までの評価	県外の博物館での企画展に湯梨浜町に関連する史料展示が行われ、多くの見学者が訪れており、湯梨浜町の歴史と文化を知っていただくことができた。 ふるさと再発見湯梨浜学講座は(5/24はわい長瀬地区)、(7/8石脇地区)で実施。 はわい長瀬地区は初めての開催。地元子ども会はじめ、幅広い年齢層の方が参加しふるさとの歴史と文化を学ぶことで、郷土への愛着を深めることができた。石脇地区には、町内の歴史研究団体、文化財保護委員の参加もあった。 歴史講演会として「全国藩倉シンポジウム」を開始した。橋津地区の各団体及び住民が積極的に準備から片付けまで協力され、地区をあげての事業となった。						最終評価				—		

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷湖周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷湖・未来創造会議（天女のふる里づくり事業）												
	関係課	企画課（全課）				関係者	行政（町・県）、各関係団体、町民				実施主体	東郷湖・未来創造会議		
	実施計画	東郷湖・未来創造会議で集約した事業を具現化するため、新たに東郷湖のシンボルとして設定した天女によるまちづくりを積極的に推進する。（5箇年計画4年目） ■具体的に展開するプロジェクト→天女イメージ創造プロジェクト/東郷湖周整備プロジェクト/ウオーキングリゾートプロジェクト/花と緑の夢空間プロジェクト/住民参加型共有・協働プロジェクト/森里海連環プロジェクト/ゆりはまものづくりプロジェクト/新3K創出プロジェクト/サービス機能増強プロジェクト/魅力あるイベント創造プロジェクト						財源の確保				東郷湖・未来創造会議事業200千円 天女のふる里づくり事業1,119千円→5月補正後11,835千円 町天女キャラクター活用推進事業526千円 ■市町村交付金545千円→5月補正後0千円 ■市町村振興事業掘り起し助成金5,000千円（5月補正）		
19	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	<p>天女キャラクターを活用したPR活動</p> <p>天女キャラクターデザイン活用</p> <p>HP等：天女キャラクター関連情報掲載</p> <p>天女キャラクター着ぐるみ活用</p> <p>天女キャラクター各種イベント参加</p> <p>天女モニュメント設置の検討</p> <p>天女伝説を紹介する本の出版の検討</p> <p>フラワーロード実施に向けた協議・検討</p> <p>フラワーロード整備</p> <p>天女サミット開催に向けた関係者協議</p> <p>天女たこあげ大会内容検討</p> <p>たこあげ大会開催</p>											
	実績	<p>天女キャラクターを活用したPR活動</p> <p>天女キャラクターデザイン活用(31件申請/H28.1.18現在)</p> <p>天女キャラクター着ぐるみ活用(35件申請/H28.1.18現在)</p> <p>HP等：天女キャラクター関連情報更新(3回/H28.1.18現在)</p> <p>天女キャラクター各種イベント参加(32件/H28.1.18現在)</p> <p>H27.5.8天女モニュメント予算計上</p> <p>天女モニュメント作成に向けて準備</p> <p>H27.9.24モニュメント候補地視</p> <p>H27.10.14モニュメント制作契約</p> <p>H27.5.8天女伝説冊子作成予算計上</p> <p>天女伝説冊子作成に向けて準備(冊子案作成、販売委員会立上)</p> <p>H27.11.20冊子発行委員会開催</p> <p>H27.12.22冊子販売開始</p> <p>H27.4.28日米友好ハナミズキ記念植樹式典(フラワーロード関連)</p> <p>H27.10.15宙(ソラ)ユリ贈呈式典(フラワーロード関連)</p> <p>日米友好ハナミズキ植樹記念プレート設置</p> <p>天女サミット各自自治体要望とりまとめ</p> <p>H27.8.2京丹後市フェスタ飛天に参加</p> <p>H27.8.9宜野湾市はごろも祭り視察</p> <p>H27.11.23高石市高石マルシェに参加</p> <p>H27.8.12東郷湖・未来創造会議</p>												

19	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆東郷湖・未来創造会議で集約した事業の具現化へ向けて、中長期的な発展戦略として事業展開する。（5箇年計画4年目） ◆事業の推進にあたっては、横断的な取り組みであることを鑑み、別途会議（主要事業進捗確認会議など）にて進捗管理するものとする。 	進捗状況・実績 (事業効果)	<ul style="list-style-type: none"> ◆H27. 4. 28、東郷湖羽合臨海公園浅津地区芝生広場にて「日米友好ハナミズキ記念植樹式典」を開催。町内5カ所に合計67本のハナミズキを植樹。 ◆H26年度に「ゆりりんトートバック」を作成したため、ピンバッチと合わせて販売に係るPRを実施。（町報5月号、町HP、TCC文字・データ放送） ◆「市町村振興事業を掘り起こすための助成金」が助成決定となったため、天女モニュメント、天女伝説冊子作成経費を予算計上。 ◆「ゆりりんキャンディー」を作成した。「ゆりりんクリアファイル」も活用し各種イベント等で配付うえPRを実施。 ◆羽衣天女伝説冊子作成に向け委員会立ち上げ準備（生涯学習・人権推進課） ◆H27. 8. 2京都府京丹後市「フェスタ飛天」参加（産業振興課） ◆H27. 8. 9沖縄県宜野湾市「宜野湾はごろも祭り」視察（町長、中本企画課長） ◆天女サミット合同パンフレット作成に着手。 ◆H27. 8. 12東郷湖・未来創造会議を開催。 ◆H27. 9. 24天女モニュメント設置候補地を関係者が視察 ◆H27. 10. 14天女モニュメント制作・設置契約締結 ◆H27. 10. 15、東郷湖羽合臨海公園あやめ池公園にて「宙（ソラ）ユリ贈呈式典」を開催。球根20球を贈呈。 ◆H27. 11. 23大阪市高石市「健幸フェスティバル&高石マルシェ」参加（企画課） ◆H27. 11. 30天女サミット合同パンフレット「天女を活かしたまちづくり」完成。 ◆H27. 11. 20伯耆国羽衣天女伝説発刊委員会開催。H27. 12. 22冊子販売開始。 ◆H28. 2. 29、日米友好ハナミズキ植樹記念プレート設置完了（東郷湖羽合臨海公園浅津地区芝生広場）
	事業の目標	天女をキーワードとした取り組みの普及、啓発に努めるとともに、他部署との連携により、アクションプログラムを2つ以上具現化する。	目標に対する達成度	80%
	現在までの評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆H27. 4. 28開催の「日米友好ハナミズキ記念植樹式典」では、キース・ロメル米国領事、平井知事にもお越しいただいた。また、H27. 10. 15開催の「宙（ソラ）ユリ贈呈式典」では、新潟県糸魚川市の榎谷村建設の梅澤専務にお越しいただき、球根20球をご贈呈いただいた。 ◆今後はフラワーロードの一つとしてPRしていきたい。 ◆1月18日時点のゆりりんグッズの販売数は、トートバック62枚、ピンバッチ57個であった。また、無料配布はキャンディー5,557個、クリアファイル2,160枚であった。引き続き販売、配布によるPRを実施していく。 ◆天女サミット参加自治体のイベントに参加（H27. 8. 2京丹後市フェスタ飛天、H27. 8. 9宜野湾市はごろも祭り、H27. 11. 23高石市「健幸フェスティバル&高石マルシェ」）。今後も連携を図っていく。 ◆H27. 11. 30天女サミット合同パンフレット「天女を活かしたまちづくり」完成。各種連携イベント等で配布していく。参加自治体へ送付済。 ◆H27. 12. 22伯耆国羽衣天女伝説冊子販売開始。販売分1,000冊のうち714冊販売済。 ◆H28. 2. 29、日米友好ハナミズキ植樹記念プレートを東郷湖羽合臨海公園浅津地区芝生広場に設置。来園者へPRしていく。 	最終評価	—

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	ウォーキングリゾートプロジェクト													
関係課	健康推進課、企画課、生涯学習・人権推進課、産業振興課	関係者	ウォーキング関係団体、スポーツ推進委員、NPO法人未来						実施主体	健康推進課					
実施計画	住民の健康増進を推進するとともに、東郷湖周辺を中心とするウォーキングの普及啓発を図るため、関係団体と連携を図りながらウォーキング教室や大会等を開催するとともに、韓国のウォーキング関係者との交流やラッピングバスによるウォーキングリゾートのPRを実施する。						財源の確保			○ノルディックウォーキング教室事業440千円 ○ウォーキングリゾート推進事業1,680千円 ○友情の道関連事業（講演会）750千円					
実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	計画	ノルディックウォーキング教室（全12回）、各地区・団体等の要請による教室の開催													
	実績	ラッピングバス契約		実行委員会の立上		おもてなし実行委員会開催			ゆりはま天女おもてなしウォーク		韓国との交流		ウォーキング講演		
実施の方針	◆教室の充実 教室について、NPO法人未来に継続委託し実施することで、内容の充実を図り、さらなる参加者の拡大を図る。 ◆韓国との交流促進 韓国ウォーキング関係者との交流を促進して、ウォーキング関係者の誘客増を図る。 ◆ノルディック・ウォーキング大会の実施 アジアトレイルズカンファレンスの際に開催されるウォーキングイベントに併せてゆりはま天女おもてなしウォークを開催する。 ◆ラッピングバスの運行 ウォーキングリゾートをはじめとする湯梨浜町の地域資源をPRするため高速バスのラッピングを実施する。						進捗状況・実績 (事業効果)			◆4月19日 ウォーキング教室開催 ◆5月24日 ウォーキング教室開催 ◆5月26日 ラッピングバス運行业務委託契約締結 ◆6月14日 ウォーキング教室開催 ◆7月10日 ラッピングバス出発式・運行開始 ◆7月11日 ウォーキング教室開催 ◆8月8日 ウォーキング教室開催 ◆8月11日 ゆりはま天女おもてなしウォーク実行委員会開催 ◆9月20日 ウォーキング教室開催 ◆10月17日 ゆりはま天女ウォーク開催（教室兼ねる） ◆10月30日、31日 済州島ウォーキングフェスティバル参加 ◆11月8日 ウォーキング教室開催 ◆12月13日 ウォーキング教室開催 ◆1月3日 ウォーキング教室開催 ◆2月21日 ウォーキング教室開催 ◆ウォーキング参加人数：延べ960名					
	事業の目標	ノルディックウォーキング教室及び各地区・団体等の要請による教室の参加者を延べ400人以上とする。						目標に対する達成度			240%				
現在までの評価	◆ウォーキング教室を兼ねた「ゆりはま天女ウォーク（ATC鳥取大会）」では670人の参加を得た。これ以外の教室は参加者が少ないため、引き続き呼び掛けを強化したい。 ◆済州島ウォーキングでは、WTC・鳥取県・湯梨浜町のPRが図れた。韓国ウォーキングの良い部分を本町にも取り入れ、今後の誘客増に結び付けたい。 ◆3月26日～27日にチェジュオルレ理事長を迎え、ウォーキング講演会を開催し、WTCの機運を高めるとともに、町民への浸透を図りたい。						最終評価			—					

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷湖周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	ウォーキングリゾートプロジェクト（ウォーキング・ノルディックウォーキング大会）												
	関係課	—					関係者	—			実施主体	鳥取県、湯梨浜町、東郷湖羽合臨海公園、NPO他		
	実施計画	東郷湖周で開催されるウォーキング、ノルディックウォーキング大会の情報を共有しながら、湯梨浜町及び鳥取県中部地区の魅力として発信する。							財源の確保			—		
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画			↔ 東郷池春の健康散策ウォーキング				↔ 湯梨浜ナイトハイク		↔ SUN-IN未来100kmウォーク					
実績			↔ 東郷池春の健康散策ウォーキング				↔ 湯梨浜ナイトハイク		↔ SUN-IN未来100kmウォーク					
20-1	実施の方針	県内外はもとより、国外の愛好者からも評価の高い東郷湖周を拠点としたウォーキング、ノルディックウォーキング大会の情報を共有しながら、湯梨浜町及び鳥取県中部地区の魅力として発信するとともに戦略的に活用する。							進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ◆5/17: 東郷池春の健康散策ウォーキング [羽合臨海公園: 300名] ◆6/6、7: SUN-IN未来ウォーク（はわい・東郷湖コース） [NPO未来: 217名] ◆8/8: 湯梨浜ナイトハイク [湯梨浜町: 154名] ◆9/13: 龍鳳閣まちなみグルメウォーキング [龍鳳閣: 101名] ◆11/1 東郷池秋の健康散策ウォーキング [羽合臨海公園: 160名] ◆11/14、15: SUN-IN未来100kmウォーク [NPO未来: 155名] 		
	事業の目標	—							目標に対する達成度			—		
	現在までの評価	—							最終評価			—		

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷湖周 “げんきウォーキング” プロジェクト												
	関係課	企画課、産業振興課				関係者	湯梨浜町商工会				実施主体	東郷湖周 “げんきウォーキング” プロジェクト実行委員会		
	実施計画	観光資源とウォーキングを融合し交流人口の増加を図ると共に、特産品開発による「げんき梅」を全国発信し湯梨浜ブランドの確立を図る。						財源の確保		◆公益財団法人鳥取県産業振興機構次世代・地域資源産業育成事業（「打って出る」とっとり応援事業）助成金 ◆町補助金				
実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	計画	← 実行委員会 →		← 実行委員会 →			← 実行委員会 →		← 実行委員会 →		← 実行委員会 →			
	実績	← ウォーキングを絡めた宿泊プランの充実にに向けた検討 →				← ウォーキング宿泊プランの紹介と招致の取組み →		← アジアウォーキング大会への協力実施 →		← 展示商談会(大阪) →		← 実行委員会 →		
		← げんき梅ブランド商品の積極的販売 →		← 東京アンテナショップ販売 →		← 実行委員会 →		← ウォーキング、げんき梅、情報発信各部会による検討・協議 →		← ふるさと名物応援事業への取組みの事業計画 →		← 実行委員会 →		
		← げんき梅ギフトセット 天女弁当の本格的販売開始 →		← 東京アンテナショップ出展げんき梅 →		← げんき梅新商品認定会 →		← 東京アンテナショップ出展げんき梅 →		← アグリフードEXPO大阪2016 →		← ウォーキング冊子milimiliの増刷 →		
20-2	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆「ウォーキングの町ゆりはま」観光商品の磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・地元からウォーキングの町の気運を盛り上げる取組、ウォーキングの売りを検討 ・旅館との協力関係を構築し、ウォーキング宿泊プランの導入と周知徹底を図る ・適切なターゲットへの働きかけによる集客の仕組みづくり ・「日本一タ日のきれいなウォーキングコース」を提唱 ◆野花豊後を活用した「げんき梅」の販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・「げんき梅ブランド」新商品開発とブランドの磨き上げ ・地元やアンテナショップ等で販売を積極的に行い、ブランドを広く発信する。 ・事業者の売上貢献できる商品に育てる。 ◆ウォーキングに関する情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等携帯端末・フェイスブック等の活用して、情報発信を頻繁に行う ・HPの充実、維持管理をできる限り頻繁に行う ・メディアに対する情報の提供を行う。 ◆ウォーキングとげんき梅の両輪を上手く噛みあわせ、事業継続できる人材の確保 						進捗状況・実績 (事業効果)						
	事業の目標	「ウォーキングの町湯梨浜」のブランド化による宿泊者の増加と「げんき梅」で特産品野花豊後の知名度アップによる生産者の意欲喚起、農工商連携の体制づくり。						目標に対する達成度		90%				
	現在までの評価	「ウォーキングの町湯梨浜」の知名度はアップしてきたが、まだ宿泊客の増加には達していない。旅館や周辺の事業者と連携を蜜にしなが「湯梨浜に來たら歩いてみたくなる」しくみ作りの検討が必要。やり続けることが重要と考える。野花豊後を活用した「げんき梅」の知名度も向上中。今後は地元や県外への販路拡大を実施したい。						最終評価		—				

平成27年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	
目標	
数値目標	

No.	取組名	東郷湖活性化プロジェクト推進会議													
	関係課	企画課、町民課、産業振興課、建設水道課 生涯学習・人権推進課、健康推進課				関係者	各関係団体				実施主体	東郷湖活性化プロジェクト推進会議			
	実施計画	東郷池をシンボルとした総合的な観光振興、農林水産業振興、環境施策及び文化等を推進する。また、活動状況をホームページ等で情報提供する。						財源の確保				既定予算で対応			
21	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画		進捗確認		進捗確認		HP更新	進捗確認	第1回推進会議	HP更新		進捗確認		第2回推進会議
		実績		進捗確認		進捗確認			進捗確認		進捗確認		進捗確認		
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆推進会議2回 ◆進捗確認4回（推進会議開催に係るものは除く） 事業を推進していく中で連携が必要なものは、随時調整、検討する。 ◆進捗状況ホームページ公開						進捗状況・実績 (事業効果)				<ul style="list-style-type: none"> ◆6/2：主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認 ◆6/5：第1回推進会議を開催 ◆7/27：第2回主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認 ◆10/6：第3回主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認 ◆12/1：第4回主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認 ◆1/26：第5回主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認 			
	事業の目標	事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開する。						目標に対する達成度				70%			
	現在までの評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆6/2主要事業進捗確認会議にて進捗状況確認を実施。推進会議委員に「地方創生」に係る意見を伺うため、6/5に推進会議を実施。 ◆主要事業進捗確認会議を5回開催。活性化プロジェクト事業の進捗を確認した。 						最終評価				—			